

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年10月19日（月）～令和2年10月25日（日）〔令和2年第43週〕の感染症発生状況

第43週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)突発性発しんでした。

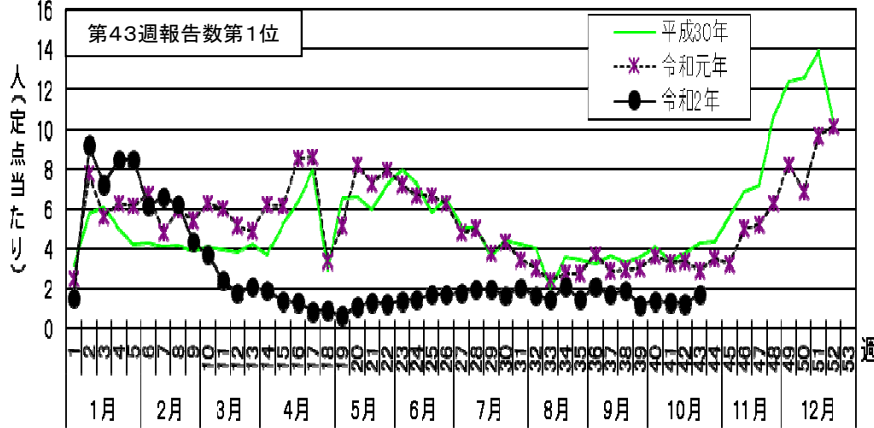
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は1.68人と前週（1.24人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.19人と前週（1.14人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

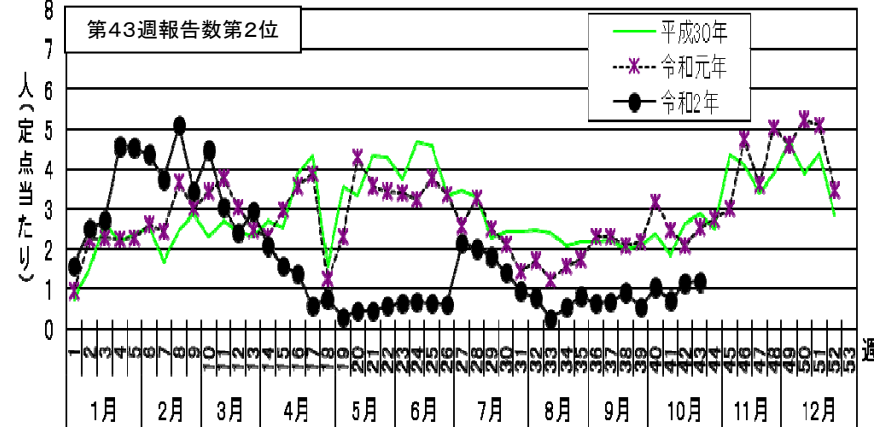
突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.46人と前週（0.35人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)

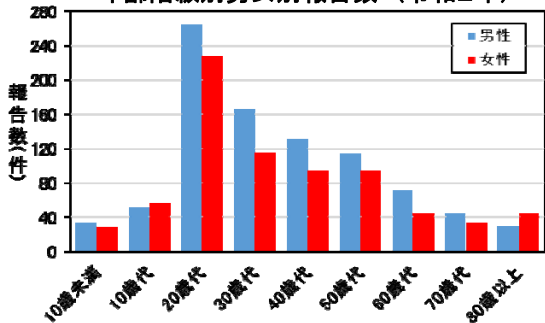


## イベントの新しい楽しみ方～新型コロナウイルス感染症～

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和2年第36週以降、増減はあるものの、著明な減少はみられていません。令和2年5月25日の緊急事態宣言解除後は、特に20歳代の報告が多く、男性が265件、女性が228件といずれも全体の約3割を占めていました。

秋から冬にかけては、若い人が数多く参加するハロウィンやクリスマスなどのイベントがあります。人が密に集まると集団感染の発生にもつながるため、新しいイベントの楽しみ方として、現在はオンラインでの開催なども始まっています。基本的な感染対策を心がけつつ、新しい方法でイベントを楽しみましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の年齢階級別男女別報告数\*（令和2年）



\*緊急事態宣言解除後の報告数

### 感染防止策を徹底して、イベントを楽しみましょう！

- 適切な感染防止策を徹底しましょう。
  - 手指消毒
  - 大声での会話の自粛
  - 距離の確保
  - マスクの着用
- 密が発生しやすい場所や適切な感染防止策が講じられていないイベントへの参加は避けましょう。
  - ※街頭や飲食店での大量又は深夜にわたる飲酒、飲酒後のイベント参加は自粛しましょう。
- オンライン開催のイベントに参加して楽しみましょう。